新潟港への交通アクセス

新潟港の背後圏には、北陸自動車道や関越自動車道、そして磐越自動車道の高速道路網と直結する充実した高規格道路網が整備され、新潟県内だけでなく東北・関東・北陸方面から迅速かつ合理的なアクセスが可能です。

また、上越新幹線や新潟空港の定期航空路により国内外の主要都市と結ばれており、北東アジアに向けた人流・物流の中心地として大きな役割を果たしています。

新潟西港

佐渡汽船や新日本海フェリー等の航路が就航する新潟港西港区は、日本海側随一の国際コンベンションセンターである朱鷺メッセや、在新潟ロシア連邦総領事館、在新潟大韓民国総領事館等も入居する万代島ビルディングが立地し、北東アジアに向けた国際交流拠点として整備が進められています。

番号	名　称	延長(m)	水深(m)	バース数
❶	臨港ふ頭（民営）	1,657	−8.0〜−11.0	8
❷	山の下ふ頭 北側岸壁	330	−9.0	2
❸	山の下ふ頭 南側岸壁	260	−7.5	2
❹	北ふ頭岸壁	427	−7.5〜−9.5	3
❺	東ふ頭岸壁	231	−7.5	2
❻	中央ふ頭 北側岸壁	294	−9.5	2
❼	中央ふ頭 先端岸壁	137	−7.5	1
❽	中央ふ頭 南側岸壁	307	−7.5	2
❾	南ふ頭岸壁	288	−7.5	2
❿	万代島ふ頭	1,033	−5.5〜−7.5	9

新潟港案内図（西港・東港の交通アクセス）

新潟東港

港周辺は大規模な臨海工業地帯として多くの企業が立地する他、LNG、木材、完成自動車、穀物等の様々な貨物を取り扱う国際物流の拠点港として発展を続けています。

西ふ頭のコンテナターミナルからは、中国、韓国を結ぶ定期コンテナ航路が充実。また、コンテナヤードの拡張などによる機能強化も図っており、本州日本海側最大の拠点港として大きな役割を担っています。

また、新潟港では税関・入国管理・検疫・植物防疫・動物検疫等の貿易関係機関が揃うことから、スピーディーな通関を実現します。

番号	名　称	延長(m)	水深(m)	バース数
❶	新潟LNGバース	ドルフィン	−14.0	1
❷	東3号 さん橋	ドルフィン	−13.0	1
❸	東1号 さん橋	ドルフィン	−13.0	1
❹	西1号〜3号 さん橋	776	−7.5	6
❺	中央ふ頭 岸壁	232	−13	1
❻	全農グリーンソース1〜2号岸壁	457	−13 (−7.0)	1 2
❼	新日鉄バース岸壁	250	−7.5	2
❽	西ふ頭 1〜2号岸壁	130 185	−7.5 −10	1 1
❾	西ふ頭 3号岸壁	350	−12（−14）	1
❿	西ふ頭 4号岸壁	250	−12	1
⓫	西ふ頭 5号岸壁（計画）	250	−12	1
⓬	南ふ頭 木材岸壁（計画）	240	−12	1
⓭	南ふ頭 木材1〜2号岸壁	370	−10	2
⓮	全農サイロバース	100	−6	1
⓯	東ふ頭 1号岸壁	280	−14	1
⓰	日石ガスAバース	150	−6	1
⓱	中央ふ頭 東1〜2号岸壁	260 260	−13 −13	1 1
⓲	東北電力専用岸壁	115	−5	1
⓳	東北電力専用桟橋 全農エネルギー新潟石油基地受入桟橋	ドルフィン	−7.5	1
⓴	海洋運輸東港岸壁	225	−12	1

2017年3月31日現在